

2020年09月23日

帯広厚生病院第一内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）
の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 高齢者 EGFR 遺伝子変異陽性肺癌へのオシメルチニブ一次治療に関するレトロスペクティブ研究

[研究機関名・長の氏名] 帯広厚生病院 菊池英明

[研究責任者名・所属] 第一内科 菊池 創

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

朝比奈 肇 北海道大学病院 内科 I 助教

[共同研究機関名]

北海道肺癌臨床研究会（Hokkaido Lung Cancer Clinical Study Group: HOT）関連施設ならびに協力施設

[研究の目的] 初回治療としてオシメルチニブを投与された75歳以上EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌症例を対象に、その臨床経過、治療効果、安全性などを評価して日常診療における高齢患者の治療の現状を明らかにする。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2018年8月～2019年12月31日までに、EGFR遺伝子変異陽性NSCLCに対し初回治療としてオシメルチニブを開始し、かつ、治療開始時点で75歳以上の方。

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理結果等）、治療の状況、転帰

この研究は、北海道肺癌臨床研究会（Hokkaido Lung Cancer Clinical Study Group: HOT）関連施設ならびに協力施設で実施します。上記のカルテ情報は、予後と予後因子の解析のために、北海道大学病院内科Iに、郵送またはパスワードをかけた電子ファイルで送付します。

[研究実施期間]

実施許可日～2023年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

帯広市西14南10の1

帯広厚生病院第一内科 担当医師 菊池 創

電話 0155-65-0101 (代表)